



# News Release

## 帝産観光バス広報室

2019年2月14日発表

### 291台の全バスに運転支援装置「モービルアイ」を装着。

—大手貸切専業で初の全車導入、衝突被害軽減ブレーキ装着車171台にも装着—

当社の貸切バス運行のより安全性を高め、安全運行への取り組みを強化するために、後付け可能な衝突防止補助システム「モービルアイ」を運転支援装置を兼ねて全車に装着いたしました。

新車には衝突被害軽減ブレーキが装着されていますが、運転支援機能が十分でないことや、経年車には安全装置がないこと等から、当社の保有するバス全てに「最低限共通する運行支援・安全装置」として導入致しました。衝突被害軽減ブレーキ付車両171台を含め、全車に導入するのは貸切専業大手としては、国内初となります。また、全乗務員を対象にモービルアイを含めた「指導監督告示:ASV装置を備える事業用自動車の運転方法」を実施いたしております。



Ph:2018年式・三菱ふそうエアロエース最新車にも、モービルアイを装着(フロントガラス中央)、及び乗客告知入口ASV装着ステッカー

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ



帝産観光バス株式会社 広報室

TEL03-5460-1201 FAX03-5460-0090

担当 久保田 東京都品川区東品川4-10-27

## ご参考：運転支援装置「モービルアイ」の概要

「モービルアイ」は、自動車の前面ガラスに取り付けた単眼カメラをセンサーとして、画像処理し、乗務員の「第三の眼」として、車両直前のクルマや歩行者に衝突しそうな場合などに警報します。

国交省貸切バス特定  
ASV機器認定



車線逸脱警報適合  
UN-ECE130

前方衝突警報基準適合  
ISO15623

インテルグループ  
イスラエル・モービルアイ社製  
国内販売元のジャパン21社  
から導入



表示部

カメラ本体



## 後付できる安全装置「モービルアイ」の特徴

1. 自動運転技術を後付可能な「車線逸脱警報装置」「追突警報装置」とした
2. 追突の可能性を予防し、危険の最大2.7秒前に乗務員に伝えます
3. ヒヤリハット発生で、ただちに乗務員に警告、対処し、安全運行支援
4. バスに鉄道並の運転保安装置を導入し、お客様と乗務員を守ります。

## 運転支援・事故防止機能について（運転支援表示例）

**運転中の「ヒヤリ！！・ハット」の発生は事前に警告し、運行を支援**



①追突警報



②車間距離警報



③車線逸脱警報

※55km以上



※昼間のみ

④歩行者衝突警報



⑤速度標識読取・警報

## 想定する導入効果について

1. 保有全車両の運転支援・保安装置の共通化による、乗務環境の統一、安全性向上
2. 衝突被害軽減ブレーキには、性能の限界があり、事前警報による「ぶつからない運転」の習慣化と乗務員・乗客の安全性向上と安全運行の信頼性向上
3. 運転技量の定量評価や将来の運行管理機器の高度化に向けた準備の構築